

会津慶山 愛宕神社

直江兼続との関係



直江兼続(なおえかねつぐ)との関係

直江兼続は、NHK大河ドラマ、天地人(てんちじん)の主人公、関ヶ原前後に活躍した上杉景勝(かげかつ)の執政(しっせい)。豊臣秀吉、徳川家康、伊達(だて)政宗(まさむね)が最も恐れていた知将であり、石田三(みつ)成(なり)とともに関ヶ原の合戦に大きく関わっていました。兼続には、甲冑(かっちゅう)が5両(りょう)残され、兜(かぶと)の頭に付ける「前立(まえだて)」に特徴があります。一つ目は、米沢神社にある「愛(あい)」の字の甲冑。二つ目は米沢市宮坂考古館にある梵(ぼん)字(じ)を模った「普賢菩薩(ふげんぼさつ)」の甲冑、三つ目は会津若松市若松城天守閣に展示してある「月(つき)輪(わ)」の甲冑です。「愛」は、戦(いくさ)の神を祀(まつ)る愛宕(あたご)神社を信仰していたため付けられたともされています。梵字の普賢菩薩は慶山の愛宕神社別当金蔵院(きんぞういん)の本尊でもあり、月輪は京都の愛宕神社の東にある月(げつ)輪寺(りんじ)から付けられた可能性が高いものです。普賢菩薩の甲冑は、慶長(けいちょう)5年(1600)関ヶ原前後の最上(もがみ)攻めに使用されています。

愛宕(あたご)神社(じんじゃ)とは

愛宕神社の総本社は、京都の市街地北西愛宕山(あたごさん)(標高924m)に位置しています。山城(やましろ)と丹波(たんば)との境、京都市右京区にあり、神社南側には、会津の慶山同様に水尾(みずお)地区があります。京都の愛宕神社は、平安時代中期の延長(えんちょう)5年(927)に編纂(へんさん)された「延喜式(えんぎしき)」ので、旧社格は府社。古くから京都で比叡山(ひえいざん)と共に信仰が厚く、火伏せに靈験があり、3歳までに参拝すると一生火事に遭わないとされています。は、地藏菩薩と同じ毎月24日。祭神は イザナミノミコト、ハニヤスヒメノミコト、アマノクマヒトノミコト、ワクミスビノカミ、トヨウケヒメノミコトで、奥の院には雷神(いかずちのかみ)などが祀(まつ)られています。大宝(たいほう)年間(～)に、役(えん)小角(のおずぬ)と秦(たい)澄(ちよう)によって創建され、天応(てんおう)元年に再興、白雲寺(はくうんじ)が建立されています。本殿には、愛宕大権現の本尊である勝軍(しょうぐん)地藏(じぞう)、奥ノ院には天狗(てんぐ)の太郎坊(たろうぼう)を祀ったことから、武(ぶ)の神としても信仰されています。天(てん)正(しょう)10年() 明智光(あけちみつ)秀(ひで)は、愛宕神社に織田(おだ)信長(のぶなが)を攻めるかを占い、3回凶を引き4度目に吉を引いたという。明治の神仏分離で、寺は廃絶され、愛宕神社のみとなり、勝軍地藏は京都市の金蔵寺(きんぞうじ)に移されています。

愛宕神社 電話 0242 26-3395

文責 石田明夫

会津慶山 愛宕神社



会津若松市東山町慶山の愛宕神社は、天応(てんおう)元(がん)年(781)に門田(もんでんの)莊(しょう)小田里(おだのさと)に大きな沼があり、大蛇(だいじゃ)が棲(す)んでいたことから、三河(みかわ)国(こく)の玉(ぎょく)泉(せん)が沼のほとりに愛宕神社を建立したという。その後、佐(さ)原義連(わらよしつら)や葦名(あしな)直(なお)盛(もり)が領主となると沼は埋め立てられ、小田(おだ)山城(やまじょう)ができ、町は黒川(くろかわ)と称したという。直盛は、西に住吉(すみよし)神社(じんじゃ)、東に愛宕神社を建立し、その町を愛宕(沼があり、大蛇(だいじゃ)が棲(す)んでいたことから、三河(みかわ)国(こく)の玉(ぎょく)泉(せん)が沼のほとりに愛宕神社を建立したという。その後、佐(さ)原義連(わらよしつら)や葦名(あしな)直(なお)盛(もり)が領主となると沼は埋め立てられ、小田(おだ)山城(やまじょう)ができ、町は黒川(くろかわ)と称したという。直盛は、西に住吉(すみよし)神社(じんじゃ)、東に愛宕神社を建立し、その町を愛宕(あたご)町(まち)と呼んだのが現在の宮町付近です。天(てん)正(しょう)18年(1590)蒲生氏郷(がもうじさと)は、宮城県大崎(おおさき)の一揆(いっき)鎮圧のため遠征し、留守を預かる町野(まちの)左近(さこん)が別当の金蔵院(きんぞういん)に祈願し、勝利したことから30石を寄進(きしん)しています。慶長13年(1608)には、蒲生秀行(ひでゆき)が社殿を修復し、寛永(かんえい)10年(1633)3月には、加藤(かとう)明成(あきなり)が現在地に社殿を造営しています。社殿の前には、相生(あいおい)松(まつ)という夫婦松(めおとまつ)がありましたが、松くい虫で枯れています。また、本殿内には、市指定文化財で文化8年(1811)に奉納(ほうのう)された萩原(はぎわら)磐山(ばんさん)が描いた「関羽(かんう)図」や、「神馬(しゅんめ)図」、「祇王祇女(ぎおうぎじょ)物語図」、「巫女(みこ)図」の4点の絵馬が奉納(ほうのう)されています。祭礼は、毎年、7月23日です。写真(しやうしん)は市指定文化財「関羽(かんう)図」

愛宕神社 電話 0242 26-3395

文責 石田明夫